

2 指導の重点

(1) 各教科、特別な教科 道徳（以下道徳科）、総合的な学習の時間及び特別活動

ア 各教科

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を基礎に、その活用を図る学習活動を重視する。特に、レポートの作成や話し合い活動及びICT機器を効果的に活用した発表など、言語活動を適宜取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。
- ・生徒がICT機器を活用する場面を増やし、生徒の学習意欲・表現力の育成を図るとともに、学習効率を高める。また、情報モラル教育を充実させ、情報を正しく収集・選択・活用する能力を育てる。
- ・調べ学習などで学校図書館やコンピュータ室を積極的に活用し、生徒が自ら課題を設定し、課題を解決する学習に進んで取り組む態度を育てる。
- ・国や都が行う意識調査や学力調査、新宿区学力定着度調査の結果の経年分析を踏まえて、「学力向上重点プラン」を作成し、十分活用することにより授業の工夫・改善を行い、生徒の基礎学力の向上を図る。
- ・新宿区学力定着度調査の結果に基づき、フォローアップワークシートを活用して個々の生徒の学習状況に合わせた学習を充実させ、基礎・基本の定着を図る。
- ・新宿区算数・数学発展的な学習資料を活用して、学習が進んでいる生徒により学びを深める指導を行う。
- ・東京ベーシック・ドリルを活用した繰り返しの学習など、補充的な学習を充実させ、学習習慣の定着を図る。
- ・英語・数学の授業においては年間を通して柔軟に習熟度別グループ編成を行い、学力の向上を目指す。
- ・英語の授業においては、「welcome to tokyo」などの教材や外国人英語教育指導員を活用し、英語による会話の場面を増やし、コミュニケーション能力を育てる。
- ・理科の授業においては、実験や観察を積極的に取り入れ、観察実験の技能の向上や学習内容の定着を図るとともに、大学と連携した新宿版SPP事業を行い、自然科学について興味関心を高めたり探究心を育てたりする。
- ・保健体育科の授業においては、体力向上の実現に向け、全単元を通して指導内容、指導方法の工夫・改善を図る。
- ・保健体育科の「武道（柔道を全学年男女で実施）」を通して、礼に代表される相手を尊重する心などの伝統的な考え方を大切にする気持ちを育てるとともに、自ら健康や安全に気を配る姿勢を育てる。
- ・保健体育科の第2学年の授業において、消防署と連携を図りながら「普通救命講習」を実施し、心肺蘇生法やAEDの使用法などの知識・技能を身に付けるとともに、自他の生命を大切にしようとする意識を高める。
- ・保健の授業を中心に、関係機関等と連携を図るとともに、保護者の理解を得ながら計画的、継続的に性教育を進めることにより、人間の性に関わる問題に対して適切な判断・適切な行動ができる能力や命を大切にする意識及び態度を育てる。
- ・家庭科の授業を中心に、食育全体計画に基づいた体系的な食育指導の推進を図り、食に関する正しい知識のもとに、食文化、食の安全性を探究し、望ましい食習慣について主体的に考え、実践していく力を育てる。

イ 特別の教科 道徳（道徳科）

- ・「特別の教科 道徳（道徳科）」については、内容項目を関連的・発展的に捉えて年間指導計画を作成し、教科書に基づき、また道徳ノートを活用しながら確実に実施する。話し合い活動や発表し合う活動を積極的に取り入れるなど、学習指導法の工夫・改善及び適正な評価の実施を進める。
- ・生命尊重や自然への畏敬などを素直に感じる心や、自己を愛するとともに他を尊重し思いやることのできる豊かな心を養う。また、自己が属する様々な集団の意義について理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努めようとする心を育てる。
- ・自分の将来を考え、法やきまりの意義を知り、主体的に社会の形成に参画し、国際社会に生きる日本人としての自覚をもたせるとともに、新たな文化の創造に貢献しようとする心情や態度を養う。

- ・生徒が地域社会における自己の役割と責任を認識し、より良い社会の実現に努めようとする態度を養う。
- ・道徳教育推進教師を中心に道徳授業地区公開講座の内容を工夫し、保護者や地域住民と共に心の教育を推進する機会の充実を図る。

ウ 総合的な学習の時間

- ・「生き方学習」を主題とし、各学年共通して「共生」「自己実現」を柱に、それぞれの発達段階に応じて、各教科と相互に関連付けた活動を展開し、よりよい社会の形成に参画する資質や能力を育てる。
- ・課題の解決や探究活動の過程において、他者と共同して課題を解決する学習活動や言語活動の充実を図り、自己の生き方や現代社会の課題について主体的に考える資質、能力及び態度を育てる。
- ・自己及び他者を理解し、共に生きていく資質、能力を育てるために、外部講師などの地域人材を活用し、学習教材、活動場所を広く地域に求め、地域との交流を推進する。
- ・学習を通して身に付いた知識・技能、課題発見の方法やその解決の道筋、学習の成果について生徒が自己評価するとともに、学習の成果を伝達する場や機会を設定することにより、よりよく課題を解決するための資質・能力、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。

エ 特別活動

- ・集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるために、学級活動、生徒会活動、学校行事等の活動において生徒の自発的・自治的活動が活発に行われるよう指導を工夫する。
- ・学校行事や学級活動を通じて、生徒が集団と個人との関係を意識しながら自主的に判断・行動し、積極的に自己を生かしていく場面を設定し、実践力を育てる。
- ・集団生活を通して、ルールやあいさつ、身だしなみなどのマナーを守ることの重要性について、繰り返し指導する中で規範意識を育てる。
- ・宿泊行事や校外学習を通して、ソーシャルスキルの習得・向上を図り、公共の精神や協調性、責任感など社会生活を送るための基礎となる力を育てる。
- ・ガイダンスやカウンセリング機能を効果的に活用し、学校生活への適応や望ましい人間関係の形成について自他ともに考え、行動できる力を育てる。

オ 選択教科

- ・実施せず。

(2) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・生徒理解を基礎に教育相談の機能を充実させ教師と生徒の信頼関係、生徒相互の好ましい人間関係を構築し、学校生活の確かな基盤をつくる。
- ・ふれあい月間における調査を活用し、生徒が共によりよい生活や人間関係を築こうとする態度の育成や基本的生活習慣の定着を図る。また、スクールカウンセラーを活用して第1学年生徒全員と計画的に面談を行い、生徒が安心して学校生活を送ることができる体制を整える。
- ・スクールカウンセラーと連携して「hyper—QU」の分析結果を活用し、一人ひとりの生徒を客観的に理解し、個に応じた指導を充実させ、いじめや不登校、問題行動の未然防止につなげる。

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクール・コーディネーター、家庭や地域、関係機関と連携した組織的な相談体制を整備し取組を強化することで、不登校の未然防止、長期欠席生徒への対応の充実を図るとともに、ネグレクトや虐待など家庭の問題、さらには非行など問題行動の未然防止、早期発見・早期解決に努める。
- ・学校いじめ防止基本方針に基づき、校内にいじめ防止対策委員会を設置し、生徒・保護者へのサポート体制を確立し、いじめの未然防止、早期発見・解決に努める。
- ・インターネット上での誹謗中傷やいじめ、インターネット上の犯罪や違法・有害情報の問題を踏まえ、関係機関と連携しながら、セーフティ教室等で適切に指導し、情報化社会を健全に生き抜くための基となる考え方や態度を育てる。
- ・「SNS東京ルール」や「SNS東京ノート」等情報モラル教材を活用し情報モラルについての意識を深め、情報を正しく収集・選択・活用する能力を育てるとともに家庭にも積極的に情報を発信する。また、「SNS東京ルール」を受け、生徒会が中心となって、SNS校内ルールを決め、情報モラルについて生徒会朝会や生徒会新聞等で全校生徒に継続的に呼びかける。
- ・「SOSの出し方に関する教育」の実施にあたっては、道徳や総合的な学習の時間等と関連させながら、学校と関係機関との連携により、生命の安全を確保できるように実践力を養う。
- ・東日本大震災等過去の災害に学びながら、多様な想定による避難訓練等、災害安全の取組を意図的・計画的に実施することを通して安全教育を充実させ、危険を予測し回避する能力や実践力を高める。
- ・第1学年では地域住民が行う避難所開設訓練への参加、第2学年では普通救命講習の実施を通して、安全に関する意識を高め、自分の身を守る知識や技能、救援活動を行う実践力など、広く社会の安全に貢献できる資質・能力を育成する。

イ 進路指導

- ・第3学年の進路指導を起点に、第2学年・第1学年の進路指導計画を精査し、発達段階に応じた指導を展開する。また、自己理解をもとに、将来の生き方について目的意識をもち、自己実現を目指す生徒を育てる。
- ・キャリア教育を通して、生徒の社会的・職業的自立に向け、基盤となる能力や態度を育てる。そのために自己理解を深める指導を大切にするとともに、職業調べ、職場体験および上級学校訪問等の体験的活動の系統化を図り、生徒が自ら進路選択ができる力を身に付けさせる。
- ・ガイダンス機能の充実により、各学年において主体的に進路を考える姿勢を育て、自ら進路選択に関する情報を収集・整理・活用できる態度や能力を育てる。

(3) その他

- ・東京都教育の日の取組として、10月26日(土)に「学芸発表会舞台発表」を実施し、また11月2日(土)に土曜授業公開を行い、地域と共に教育について考える機会とする。
- ・部活動ガイドラインに則った部活動指導を推進し、生徒のバランスのとれた生活や成長に配慮するとともに、合理的かつ効率的・効果的な活動を推進する。
- ・朝読書を毎日継続的に実施し、読解力の定着を図る。

